

中京大学大学院生

法 学 研 究 論 集

創 刊 号

創刊の辞 石 堂 功 卓

論 説

遺留分減殺請求権の性質

——相続主義を中心として—— 酒 井 誠 (1)

責 任 と 人 格

——初期メツガーの性格論的

責任論を中心として—— 鈴 木 晃 (50)

インド司法制度の研究序説 北 島 泰 治 (78)

過失犯についての一考察

——わが国の過失論を中心として—— 横 瀬 浩 司 (113)

資 料

1977年ウィスコンシン州改正家族法典 酒 井 誠 (144)

<紹介>

クリスチアン・シェーネボルン

「責任原則と一般予防観」 鈴 木 晃 (161)

中京大学大学院法学研究科

執筆者紹介 (掲載順)

酒井 誠 (中京大学大学院法学研究科博士課程)

鈴木 晃 (中京大学大学院法学研究科博士課程)

北島 泰治 (中京大学大学院法学研究科修士課程修了・研究生)

横瀬 浩司 (中京大学大学院法学研究科修士課程修了・研究生)

中京大学大学院生法学研究論集 創刊号

発行日 昭和五十六年三月一日

発行所 中京大学大学院法学研究科

名古屋市中区新栄八事本町一〇の二
電話(〇五〇)八三二一・二一五一

印刷所 有限会社 真 清 社

名古屋市中区新栄一丁目四十七の五
電話(〇五〇)二四一八・〇八五

CHUKYO DAIGAKU DAIGAKUINSEI
HOGAKU KENKYU RONSHU

No. 1

1981

CONTENTS

Preface Kotaku Ishido

Articles

Die Art des Pflichtteilsanspruch

—Besonders zum Erbfolgeprinzip— Makoto Sakai (1)

Schuld und Persönlichkeit Akira Suzuki (50)

Outline of the Judicial Institute of India Yasuharu Kitajima (78)

Eine Betrachtung der fahrlässigen Delikte Kouji Yokose (113)

Materials

The 1977 Amendments

to the Wisconsin Family Code Makoto Sakai (144)

Christian Schöneborn, Schuldprinzip und
generalpräventiver Aspekt,

ZStW. 88. 1976, S. 349ff. Akira Suzuki (161)

The Graduate School of Law
Chukyo University